

ネットワーク・ストレージ

バックアップ/リカバリ



## Dell EMC Unity™ + Data Domain™で 基幹業務用ストレージ基盤を刷新 処理能力向上とBCP強化に成功

導入前までの経緯

導入後に期待される効果



元気が大好き

マルキン食品株式会社

創業：1915年

資本金：5000万円

URL：http://www.marukinfoods.co.jp/

業種：製造業

事業概要：納豆、豆腐、こんにゃく、ところてん、辛子れんこん等の製造を手掛ける食品メーカー。

- ・ 受注・販売管理システム用ストレージ基盤の性能改善を図ること
- ・ 重要業務データの遠隔地保管を行い、事業継続性の強化を推進すること

- ・ オンラインレスポンスとバッチ処理性能の大幅な向上を実現
- ・ 拠点への遠隔レプリケーションを実現。日次バックアップ時間も約1/15に短縮



マルキン食品株式会社  
常務取締役  
管理本部長

嶋村 公明氏



マルキン食品株式会社  
管理本部 システム部  
システム課 係長

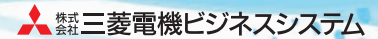
西釜 祐一氏



株式会社三菱電機ビジネスシステム  
九州支社 熊本営業所  
技術部 第一課 主任

熊谷 恭宏氏

パートナー概要



株式会社三菱電機ビジネスシステム

本社：東京都中野区本町1-32-2

九州支社：福岡市中央区天神4-2-20

熊本営業所：熊本市中央区紺屋今町1-5

設立：1973年12月6日

資本金：4億円

URL：http://www.melb.co.jp/

### 受注・販売管理業務を支える ストレージ基盤の刷新に挑む

熊本市に本社を置くマルキン食品は、創業から100年を超える歴史を有する老舗食品メーカーである。常務取締役 管理本部長 嶋村 公明氏は「当社では『愛ある味のパートナー』の企業理念の下、納豆や豆腐、こんにゃく、ところてん、辛子れんこんなど、多彩な商品群を展開。日本の伝統を活かした食品の提供を通して、お客様の元気や健康に貢献することを目指しています」と説明する。

同社の大きな強みとなっているのが、徹底した商品へのこだわりだ。たとえば納豆では、多くの商品で辛子の添付をあえて行っていない。製法や味付けに工夫を凝らすことで、そのままでもおいしく食べられるように仕上げているからだ。同様に豆腐でも、大豆本来のうま味を最大限に活かせる充填製法を採用。こうした妥協のない姿勢が、1世紀以上にわたる顧客の支持につながっているのである。

さらにその一方で、業務への先進ICT活用も意欲的に推進。嶋村氏は「近年ではビジネススピードに対する要求も一段と厳しさを増しています。我々メーカーとしても、受注から製造、納品までのリードタイムをより短縮していかなければなりません。そのためには、高い性能と柔軟性を備えたICT基盤が不可欠です」と語る。そうした取り組みの一環として、今回同社では受注・販売管理システムなどのインフラとなるストレージ基盤の刷新に着手。ここでは2つの大きな課題に挑むこととなった。

### 高い性能と柔軟性を評価し Dell EMC Unityを新たに採用

既存ストレージに関わる課題の一つは、性能と柔軟性のさらなる向上だ。管理本部 システム部 システム課 係長 西釜 祐一氏は「旧ストレージには信頼性に優れた製品を導入していましたので、約5年間にわたりトラブルもなく無停止で業務を継続できました。しかし、容量増設など

の作業に手間が掛かる、ピーク時にレスポンスが低下するといった問題もあったため、今回の更新を機に改善を図りたいと考えました」と振り返る。

こうした点を解消すべく新たに採用されたのが、ネットワークが提供するユニファイドストレージ「Dell EMC Unity」である。同社のITパートナーである三菱電機ビジネスシステムの熊谷恭宏氏は、Unityを提案した理由を「旧ストレージもDell EMC製品でしたので、信頼性における実績を高く評価したことが一つ。さらにUnityには、性能とコストのバランスに優れている上に、将来の拡張も容易というアドバンテージが備わっています」と説明する。

もう一つのポイントとなったのが、Dell EMC独自の機能、「FAST™」だ。これは、高速なSSDをストレージの2次キャッシュとして利用する機能（FAST Cache）や、アクセス頻度に応じてデータの配置を変える自動階層化機能（FAST VP）を備えている。同社では近隣市場に対して受注当日の製品出荷も行っているた

め、こうした高速化機能があることは大きなメリットであった。

今回は、「Dell EMC Unity300」を2台導入することで、十分な性能・信頼性を確保。「どの業務システムもなかなか止められないため移行には苦労しましたが、2016年12月より無事全面本稼働を果たすことができました」と西釜氏は語る。

## Dell EMC Data Domainで重要業務データを遠隔保全

今回のプロジェクトのもう一つの課題は、事業継続に欠かせないバックアップ/DR（災害対策）環境の構築だ。2016年4月に発生した熊本地震は、地域の生活や経済にも甚大な被害をもたらした。災害発生から1年以上が経過した現在も、復旧・復興に向けた活動が進められている。

「当時熊本市内の企業では、サーバーラックが倒れた、バックアップシステムが本番システムと一緒に壊れたといった事例も数多く発生。幸い当社のシステムは無事でしたが、BCP強化の重要性を改めて痛感しましたね」と嶋村氏は明かす。

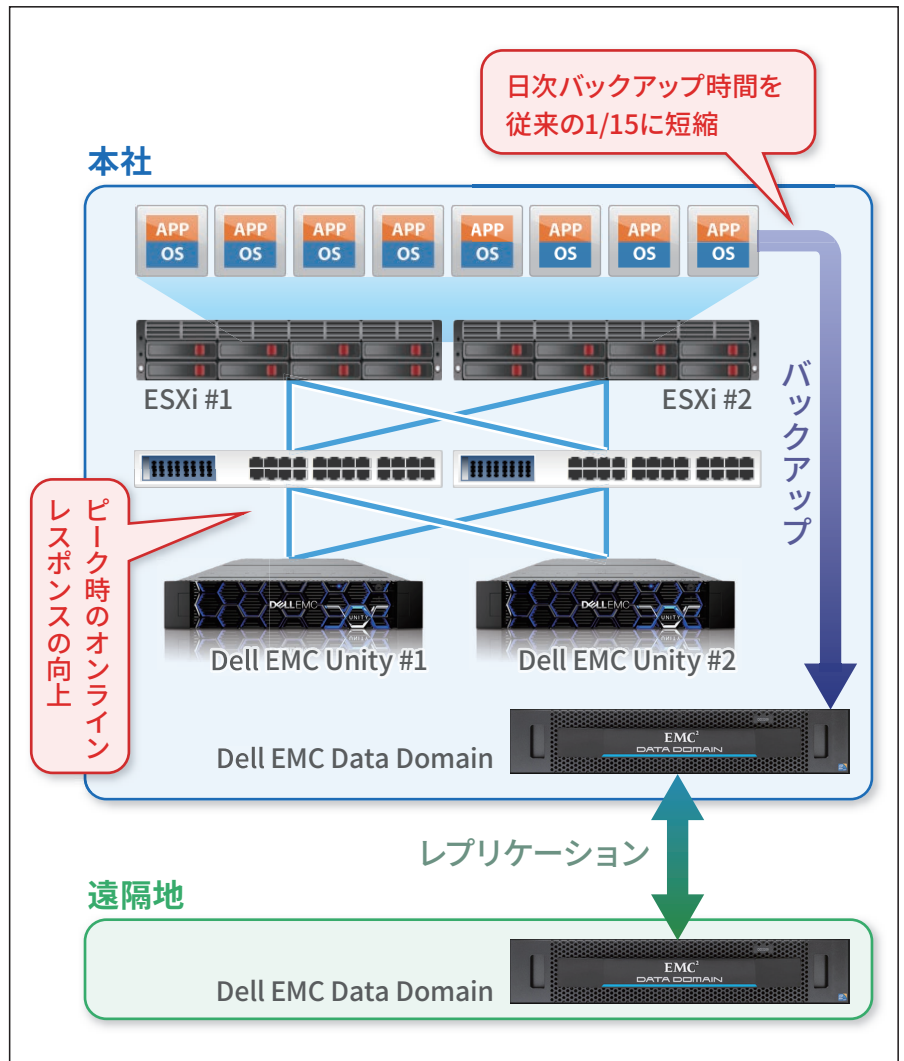
同社でも従来は、本社サーバーラック内にバックアップ用ストレージを置いていたが、今回の経験を踏まえて遠隔地へのデータレプリケーションを行うことを決断。そのための製品として採用されたのが、重複排除バックアップストレージ「Dell EMC Data Domain」である。

「Data Domainは重複排除後の差分データだけを転送しますので、ネットワークに負担を掛けることなく短時間でレプリケーションが行えます。また、毎回長い時間を掛けてフルバックアップを行っていた旧環境に対し、ローカルでのバックアップも効率的に行えるようになります」と熊谷氏は説明する。

現在では、2台の「Dell EMC Data Domain 2200」を本社と遠隔地の拠点に配置し、万一本社が被災した際にも、拠点側のデータを利用して迅速に業務を復旧できる環境を実現。重複排除機能の効果も大きく、バックアップデータの容量増加も最小限に抑えられているとのことだ。

## 大幅に向上したレスポンス バックアップ時間も約1/15に

ストレージを刷新したことで、日々の業務にも様々な改善効果が生まれている。まず一点目は、オンラインレスポンスの向上だ。西釜氏は



「当社では、朝・昼・夕方1日3回受注処理が集中しますが、現場のユーザーからは『ピーク時の応答が速くなった』と歓迎の声が上がっています。お客様のご注文に素早くお応えしていく上で、大きな効果を発揮してくれていますね」とこやかに語る。

また、バッチ処理についても、大幅な改善が図れたとのこと。西釜氏は「豆腐工場は明け方から稼働を開始しますので、午前2～3時頃までにはバッチ処理を終えていないといけません。導入時にもこのあたりはかなり気を遣ったのですが、Unityを入れたことで余裕を持って対応できるようになりました」と続ける。

同様にバックアップでも、従来は約10時間掛かっていた日次処理を約40分へと1/15程度に短縮。「以前は翌朝になってもバックアップが終わらないケースがありましたが、現在ではこうした問題も解消。今後は他のシステムのバックアップにも、Data Domainの適用を拡げていきたい」と西釜氏は語る。

さらにその先に見据えているのは、ビジネス

の成長への貢献だ。「日配品の業務は24時間・365日止まりませんので、ICT基盤も現場の業務をしっかりと支えられるものでなくてはなりません。今後の新たな市場ニーズに即応していく上でも、より最適な環境の実現を目指していきたい」と抱負を語る嶋村氏。ネットワークと三菱電機ビジネスシステムも、その取り組みをしっかりと支えていく。

お問い合わせ

株式会社ネットワークルード

<http://www.networkworld.co.jp/>

✉ [emc-info@networkworld.co.jp](mailto:emc-info@networkworld.co.jp)

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-11-15  
住友商事神保町ビル  
TEL : 03-5210-5020, 5031, 5095

関西支店 〒530-0001 大阪府北区梅田3-3-20  
明治安田生命大阪梅田ビル 24F  
TEL : 06-7664-5400

中部支店 〒451-6008 名古屋市中区西区牛島町6-1  
名古屋ルーセントタワー 8F  
TEL : 052-588-7611

九州支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1  
九勤筑紫通ビル 3F  
TEL : 092-461-7815

\*記載されている会社名および製品名、ロゴは各社の商標または登録商標です。  
2017年6月